

Office



賢い(安く)Office機能を使う方法

◇これからパソコンを買う人

◇現Officeメンテが終了し、新たにOfficeを買うことを考えている人

改版2023年3月

柏在住:中村年雄

デジタル回覧板の実現方法

Office機能を使う方法としては;

1. Microsoft Officeがインストールされているパソコンを購入する。(高い、約2万円)
2. Microsoft Officeがインストールされていないパソコンを購入する。
 - 1) 無料で使用する。
 - ① 無料ソフトを使用する。お勧め: Libre Office
 - ② Web版Office (Microsoft)を使用する。
 - 2) 有料ソフトを購入する。
 - ① Microsoft Office (パソコンと同時に買うよりか高くなる。)
 - ② KINGSOFT Office (安い!)
 - ③ **Microsoft Office正規版を格安で入手する。信じられない安さ!!**

無料で使用する方法（1）

1. 無料ソフトを使用する。お勧め: Libre Office

余り使用しないのであればこれがお勧め、

窓の杜からインストールする。<https://forest.watch.impress.co.jp/library/software/libreoffice/>

基本的な機能・操作なら問題なし。図形など複雑な使い方の場合はMicrosoftとの互換性にちょっと問題ある。

LibreOffice (最新版) (64bit版)
v7.4.2 (22/10/13) インストールアプリ

無料のオフィスソフト
無料 (寄付歓迎)

窓の杜から
ダウンロード
ファイルサイズ 338.7MB

2. Web版Office (Microsoft)を使用する。

インターネットが接続されていればどこからでも、どのPCでも使用することができる。

Microsoftとの互換性は問題なし。ファイルは全てOneDriveに格納される。自分のPCにダウンロードできるが、それを編集することはできない。(PCにOfficeが無いから)

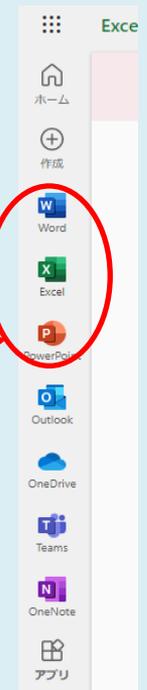
Web上で Word、Excel、PowerPointなどを無料で使用
OfficeはMicrosoft 365になります

2.1 使い方

2.1.1 Microsoftにアクセスしてログインする。(Microsoftアカウント)

<https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/free-office-online-for-the-web>

2.1.2 左のタスクバーから使いたいソフトを選択する。



無料で使用する方法（2）

2.2 Web版Officeの制限されている機能の一部

2.2.1 Excel

機能名	制限の内容
マクロの実行	マクロを実行できない
ファイル形式	csv形式など一部のファイル形式をサポートしていない
グラフ	外部を参照したり一部のデータソースを使ったりしたグラフ
データ接続	環境の構成方法により、外部データ接続が表示できない場合がある
関数	一部の関数で、動作が異なる
デジタル署名	デジタル署名を使用したブックは表示できない
XML	XMLの対応付け、XMLの埋め込み操作タグおよびXML拡張パックが使用されたブックを表示できない

無料で使用方法（3）

2.2.2Word

機能の分類・名前	制限の内容
編集機能	
変更管理	制限あり
要素機能	
図形の追加	サポートされていない
テキストボックスの追加	サポートされていない
ファイルの表示機能	
保存済み拡大レベル	サポートされていない
使用可能な表示モードの種類	2種類(デスクトップ版は5種類)
ウインドウの分割	サポートされていない
参照機能	
引用の追加と更新	サポートされていない
脚注の編集	制限あり
目次の編集	制限あり
保存機能	
ブログに投稿	埋め込みコードが指定されている
ドキュメント検査	サポートされていない
共有機能	
文書をPDFとして送信	PDFとしてダウンロードする
文書を添付ファイルとして送信	サポートされていない
リンクまたはメールとして共有	リンクまたは埋め込み
スタイル機能	
スタイルの追加	サポートされていない
カスタマイズ	サポートされていない
その他	
マクロ機能、実行	サポートされていない
文章校正機能スマート検索	サポートされていない

無料で使用方法（４）

2.2.3 PowerPoint

機能の分類・名前	制限の内容
オーディオ機能	
トリミング、ブックマーク、フェード	サポートされていない
コラボレーション機能	
最近のアクティビティ通知	サポートされていない
変更箇所の強調表示	制限あり
スライド機能	
画面切り替えの追加、削除、変更	制限あり
スライドアニメーションの追加、削除、変更	制限あり
テキスト書式設定機能	
強調表示	サブスクライバーのみ
テキスト方向の設定	サポートされていない
スライドショー機能	
自動プレゼンテーション	サポートされていない
発表者ビュー	サポートされていない
スライドショーの記録	サポートされていない
目的別スライドショー	サポートされていない
その他	
スライドマスターの編集	サポートされていない
ショートカットのカスタマイズ	サポートされていない
グラフの追加	サポートされていない
画像の圧縮	サポートされていない

有料版を購入する方法（1）

Microsoft Officeがインストールされていないパソコンを購入した場合。

又は、使っているOfficeが古いので新しいOfficeを購入する場合。

参考) Officeがインストールされているパソコンを購入したときの価格。

① Office personal 2021(Word,Excel,Outlook) ➡ DELLの場合16,000円

② Office Home & Business 2021(Word,Excel,PowerPoint,Outlook) ➡ DELLの場合24,000円

1. Microsoft Officeを購入する。(価格コムの場合、2022年11月時点)

① Office personal 2021(Word,Excel,Outlook) ➡ 32,000円 (定価:32,780円 2台可)

② Office Home & Business 2021(Word,Excel,PowerPoint,Outlook)

➡ 34,000円(定価:38,280円 2台可)

2. KINGSOFT WPS Office2 (Word,Excel,PowerPoint) ➡ 3,000円

Microsoft Officeとかなりの互換性がある。

注) 1か月無料で使えるので試してから買うのが良い。

有料版を購入する方法 (3)

3. Office Professional Plus (Word, Excel, PowerPoint, Access, Outlook) ➡

Yahooショップ 175円 (定価: 65,784円)

3.1 購入から使用するまで;

- ① 購入したお店からOfficeのプロダクトキーがメールで送られてくる。
- ② setup.office.com (Microsoftの正式HP)にアクセス。
 - a) Microsoft アカウントでログインする。
 - b) 画面に従って入力していく。プロダクトキーを入力すればOfficeの種類が自動的に判断される。

以上で使用可能となる。重要なのはMicrosoftの正規版であることです。

3.2 何故安いのか？問題はないのか？

- ・企業で使用するボリュームライセンスの再販。
このライセンスを外販しても良いとの判決がでている。(ヨーロッパの主な国でMicrosoftは敗訴した。)
- ・日本では判決は出ていないが、Yahoo Shopで数年前から売りに出ているので違法とは考えられない。
(一般の人が知らないだけ??)

Microsoftは非正規版と言っている。プロダクトキーを入れても正常にダウンロードできない場合もある。
全て自己責任で実施すること。

参考)

<https://www.youtube.com/watch?v=efbsOZAaCcU>

弁護士の話: 売るのはグレー(欧州裁判所で合法判決が出ている)、買うのは合法

<https://www.youtube.com/watch?v=JRoXwostXsw>



追加)

Windows11も200円で買えます。

有料版を購入する方法（４）

3.3 実際に行った手順(2023年3月7日)

- ① 購入したお店から連絡のあったURLにアクセスしてOfficeのSetupプログラムをダウンロードする。
- ② 上記を実行する。
Officeがインストールされる。
- ③ Word(Excelでも良い)を開く。
- ④ ライセンス認証ウィザードが表示されるので閉じる。
- ⑤ Wordの左上にある“ファイル”-“アカウント”を表示する。
- ⑥ “ライセンス変更”クリック(“ライセンス認証”で進めてもプロダクトキーの入力画面にならないでうまくいかない。)
- ⑦ “別のアカウント”をクリック
- ⑧ Microsoftアカウントでなく“プロダクトキーで……”をクリック
- ⑨ プロダクトキーを入力する。
- ⑩ “Officeライセンス認証”をクリック
- ⑪ Wordを閉じて、再度開く。
(又は、左上にある“ファイル”-“アカウント”-“ライセンス認証”で開く。)
- ⑫ ライセンス認証ウィザードが出るので“インターネット経由で……認証を行う。”を指定して“次へ”をクリックする。
- ⑬ 認証されたことを確認する。
“ファイル”-“アカウント”を表示する。
認証されている製品名が出ている。

